

【別添3】

新型コロナウイルス感染症による臨時休業に係る 子供のメンタルヘルスについて

新型コロナウイルスについて、連日、報道で大量の情報が流されています。また、感染拡大防止のため全校が休業になり、子供の行動が制限されており、保護者や子供には多大なストレスが加わっていると推測されます。

つきましては、別紙1は子供へ接する際に心がけていただきたい点について、別紙2は保護者自身のメンタルヘルスについて、別紙3及び別紙4は児童生徒等へ配付することを目的とする、児童生徒等のメンタルヘルスについて作成しましたので、下記にご留意いただきながら、ご対応ください。

なお、睡眠や食欲に長期間影響が出ている場合や行動上の問題が大きい場合などは、専門的な対応が必要になる場合があります。そのような場合は、養護教諭、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、学校医と相談の上、子供の心の専門医がいる医療機関などの専門機関と連携してください。

記

1 メンタルヘルス対応の窓口の設置について

保護者や子供がストレスなどで不安になった際に相談できる窓口を設置し、ホームページやメール等でお伝えいただきますようお願いいたします。

・子供のメンタルヘルス対応の窓口の設置例

学校に電話相談窓口を設け、自宅勤務の者も含めて、管理職、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが連携し、組織的に対応できる体制

2 別紙1及び別紙2について

ホームページやメール等を利用し、保護者にお伝えいただきますようお願いいたします。

＜別紙1及び別紙2の内容＞

- (1) 保護者と子供が、よい体調を維持できるように努めること
- (2) 保護者が正しい情報を得ることと、それを子供にわかりやすく説明すること
- (3) 保護者と子供が、不安をあおるような報道情報に接する時間を減らすこと
- (4) 家族や親せき、友人などの親しい人と話す時間を持ち、孤立しないこと
- (5) 保護者と子供のストレスに伴う心理的な反応について気をつけること
- (6) 必要なときに専門機関と相談すること
- (7) 障害のある子供への配慮

3 別紙3及び別紙4について

ホームページやメール等を利用し、別紙1及び別紙2とあわせて、保護者を通じて児童生徒等にお伝えいただきますようお願いいたします。

＜別紙3及び別紙4の内容＞

- (1) 現在の状況に関する説明および感染拡大防止のために気をつけること
- (2) 学校が休みの間の家での過ごし方
 - ① 規則正しい生活と、「3つの密」を避けたうえで適度な運動やリラックスできる時間をとること
 - ※ 3つの密…(1)換気の悪い密閉空間
 - (2)多数が集まる密集場所
 - (3)間近で会話や発声をする密接場面
 - ② 感染拡大防止に気をつけること
 - ③ 不安をあおるような報道情報に接する時間を減らすこと
 - ④ 孤立しないために、感染拡大防止に気をつけながら、家族や親せき、友人などの親しい人と電話やメールなどで話す時間をもつこと
 - ⑤ ストレスに伴う心理的な反応について気をつけること
- (3) 感染に関するいじめの防止

4 その他

- (1) この資料は、県生徒指導課のホームページに掲載しています。
URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/cocoronocea/cocoronocea.html>
- (2) 別紙1から別紙4は、以下の資料を参考に作成しています。
 - ・新型コロナウイルスに対する学校でのメンタルヘルス支援パッケージ
(2020年3月9日初版、3月11日改訂第8版)
監修：日本児童青年精神科・診療所連絡協議会
URL <https://jascap.info/>
- (3) 作成に際しては、埼玉県スクールカウンセラー美和健太郎氏（埼玉県公認心理師協会理事）の助言を参考にしています。

| |
|--|
| 担当：教育局県立学校部生徒指導課 総務・登校支援・中退防止担当 TEL：048-830-6745 FAX：048-830-4952 E-mail：a6740-07@pref.saitama.lg.jp |
|--|

子供のメンタルヘルス対応として

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全校が休業になっています。また、連日、報道で大量の情報が流されています。このような状況では、子供には多大なストレスが加わるため、メンタルヘルスが重要です。ここでは、子供へのメンタルヘルス対応についての留意点を述べさせていただきます。

① 子供が、よい体調を維持できるように努めましょう。

子供は、周りの大人の反応を見て状況を判断します。周りの大人が落ち着かないと子供も落ち着きませんが、周りの大人が落ち着いていれば、子供は安心し、落ち着くことができます。

そのためにも、規則正しい生活を心がけ、睡眠を十分にとり、食事も三食バランスよく食べ、可能であれば、「3つの密」にならないよう気をつけながら、外での運動をさせるなどをこころがけましょう。

※3つの密…(1)換気の悪い密閉空間 (2)多数が集まる密集場所
(3)間近で会話や発声をする密接場面

② ウイルスやその感染防止について正しい知識を、子供にわかりやすく伝えましょう。

何が起きているか事実を伝え、今どうなっているか説明し、感染リスクを減らすためにどうすればいいか、子供の理解力に応じて、わかるように教えましょう。

③ 不安をあおるような報道情報に、子供が接する機会を減らしましょう。

そのような報道情報に接する時間を減らし、家族との団らんや休息をもちましょう。

④ 家族や親せき、友人などの親しい人と話す時間をもち孤立しないようにしましょう。

コンピューターゲームや動画の視聴の時間を増やさず、家族と話をする時間を作りましょう。また、カードゲーム、ボードゲーム、折り紙や工作などをして過ごす時間を作りましょう。できるだけ、親や家族がそばにいるようにしましょう。仕事や入院などで家を離れる場合には電話などで定期的に連絡できるような方法を確認してください。直接会えない友人とはメールや電話で連絡を取れるようにしてあげましょう。

⑤ 子供のストレスに伴う心理的な反応に気をつけましょう。

このような状況では子供に、以下のようなストレスに伴う心理的な反応が出る場合があります。

- 甘えたくなる
- 心配になる
- 元気が出ない
- 悲しくなる
- おねしょをしてしまう
- いらいらする
- 怒りっぽくなる
- 喧嘩が増える

子供は大人から愛情と目を向けられることを必要とします。今まで以上に時間をかけ、接してください。子供の訴えを聞いて、やさしく話しかけ、安心させてください。可能なら、安全な環境で遊びやリラックスできる機会を作ってください。多くの場合、このような心理的な反応は、時間とともに改善しますが、睡眠や食欲の問題が長期間続く、行動上の問題が顕著であるなどのような場合には、養護教諭やスクールカウンセラーなどに相談するようにしてください。

⑥ 障害のある子供は、障害の特性に応じた配慮が必要になります。専門機関にかかっている方は、こまめに相談するようにしましょう。

特に、発達障害などの特性がある子供は、急な状況の変化に適切に対応できない場合が多くあります。本人の理解力に応じて説明は時間をかけてわかりやすく行い、できれば、表やイラストなどの視覚的な説明方法も取り入れましょう。また、できるだけ安心できるように、先の見通しがもてるようにしてあげましょう。また、感覚過敏のある子供も多いので、自分のペースで静かに過ごせる場所や時間を作りましょう。このような取組は、発達障害のない子供にも有効です。

保護者のみなさんへ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全校が休業になっており、保護者の方には多大なご負担があると思います。子供のメンタルヘルスにとって、保護者の心身の安定が第一です。ここでは、保護者ご自身のメンタルヘルスについて述べさせていただきます。

① 保護者ご自身が、よい体調を維持できるように努めましょう。

○子供は、周りの大人の反応を見て状況を判断します。周りの大人が落ち着かないと子供も落ち着きませんが、周りの大人が落ち着いていれば、子供は安心し、落ち着くことができます。

○そのため、保護者ご自身の心身の安定が第一です。できるだけ規則正しい生活をし、睡眠を十分にとり、食事も三食バランスよく食べ、「3つの密」をさけたうえで適度な運動を心がけましょう。

※3つの密…(1)換気の悪い密閉空間 (2)多数が集まる密集場所
(3)間近で会話や発声をする密接場面

② 正しい情報を公的なホームページなどから得るようにしましょう。

○正しい知識があれば、適切に対応でき、過度な不安を除くことができます。

③ 不安をあおるような報道情報に接する時間を減らし、心配や焦りを減らしましょう。

○そのような報道情報に接する時間を減らし、家族との団らんや休息をもちましょう。

④ 家族や親せき、友人などの親しい人と話す時間をもち、孤立しないようにしましょう。

○人に話を聞いてもらうことで、心配や焦りが解消することがあります。

⑤ 過去に大きなストレスを感じながら乗り越えた経験を思い出しましょう。

- そのような経験は、過度な心配や焦りを防ぎ、今回の状況を乗り越えるのに役立つ可能性があります。また、周囲の人とお互いにうまくいっている取組があれば、褒め合いましょう。
- 今回の状況を乗り越えることは、将来役に立つ可能性があります。
- 保護者の姿を見て、子供は落ち着きます。

⑥ 気持ちを落ち着けるために、アルコールやタバコ、あるいは病院で処方されていた薬以外の医薬品やサプリメントに過度に頼らないようにしましょう。

- 我慢できないときは、学校を介してスクールカウンセラーに相談しましょう。
- 専門機関との相談が必要と感じる場合は、スクールソーシャルワーカーと相談してみましょう。

⑦ ご自身の心理的な状態を把握するように気をつけましょう。

- このような状況でストレスを感じ、不安や怒り、時に気分が落ち込むことは自然なことです。
- ストレスで生じるメンタルヘルスに関連する反応には、気持ちの変化や体調の変化など様々なものがあり、日常生活に支障が出る場合もあります。このような反応が普段よりも強く出た場合は、休息をとり、必要に応じて専門機関に相談しましょう。
- もともと専門機関にかかっている方は、症状が悪くなる前にこまめに相談しましょう。

⑧ 必要なときに、相談できる専門機関をあらかじめ調べておきましょう。

- わからない場合は、埼玉県のホームページを参考にしてください。
【新型コロナウイルスに関連した相談窓口について】
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/consulting_service.html

【別紙3】

ようちえんじょう しょうがくせい
幼稚園児・小学生のみなさんへ

かぞく いっしょ
家族のかたと一緒に読みましょう

がっこう やすなが ともだち あそ いえ で できないと 気持ち が 辛く なり、イライラ することがあります。そうならないために、次のことに気をつけましょう。

① 規則正しい生活をしましょう。

○早寝早起きをこころがけ、生活リズムを整えましょう。

○なるべく決まった時間に3食をバランスよく食べましょう。

② 適度な運動やリラックスできる時間を取りましょう。

○「3つの密」※にならないよう気をつけながら、外で散歩したり、ジョギングしたり、家の中でストレッチをするなど、リラックスできる時間を取りましょう。

○コンピューターゲーム、パソコン、動画等は家族と相談して時間を決めましょう。

○遊具をさわる前とさわった後は、手洗いをきちんとしましょう。

○遊具をさわった手で、鼻や口をさわらないようにしましょう。

※3つの密…(1)風通しのよくない建物や部屋をさける (2)人がたくさんいる場所には行かない
(3)人とお話しするときは近づいて話をしない

③ 感染が広がらないようにしましょう。

○せき、鼻水、発熱などがあるときは、出かけないで家で過ごしましょう。

○元気な人も、ウイルスがうつらないよう「3つの密」に気をつけて過ごしましょう。

④ ウイルスに関するテレビやインターネットを見て、気持ちが辛くなるなら、あまり見ないようにしましょう。

○正しいことを知るの大切なことですが、気持ちが辛いようなら、見ないようにしましょう。

⑤ 家族や友だちと話す時間をもちましょう。

○気持ちが辛いときは、一人でいるよりも信頼できる人と話すと楽になることがあります。

○家族がお仕事などのため、一人で留守番するのが辛いときは、家族と連絡がとれるようにしておきましょう。辛かったら電話をしましょう。

○家族といるときは、カードゲームやボードゲーム、お話などをして過ごしましょう。

○会えない友達と話したいときは、家族と相談して、電話などをしてみましょう。

⑥ 気持ちが辛くなったら、家族や学校の先生などに相談しましょう。

○気持ちが辛いときは、次のような症状が出ることもあるかもしれません。でも、今回のような状況では、不思議なことではありません。状況が落ち着けば、おさまることが多いです。

- ・甘えたくなる
- ・心配になる
- ・元気が出ない
- ・悲しくなる
- ・おねしょをしてしまう
- ・イライラする
- ・怒りっぽくなる
- ・きょうだいげんかが増える

○長く続くときや心配なとき、困ったときは家族や学校の先生など、信頼できる大人に相談してみましょう。学校の先生への相談は電話でできます。

○気持ちがいつもと違うかも？と思ったときは、相談してみましょう。

⑦ いじめは絶対にしないようにしましょう。

○たまたま、新型コロナウイルスにかかった人や、その家族あるいは身近な人、かかった人のためにがんばっている病院や保健所の人やその家族などに、傷つけるようなことを言ったりするのはやめましょう。

- ・「ウイルスにかかっている」、「ウイルスがうつる」などと言ってからかったり、仲間はずれにしたりすること。

○いじめは絶対にあってはならないものです。もし、そのような場面を見かけたら、家族や学校の先生など、信頼できる大人に相談しましょう。

中学生・高校生のみなさんへ

学校の休みが長くなって、友達と遊ぶことや家から出ることができないと気持ちが辛くなり、イライラすることがあります。そうならないために、次のことに気をつけましょう。

① 規則正しい生活をしましょう。

- 早寝早起きをこころがけ、生活リズムを整えましょう。
- なるべく決まった時間に3食をバランスよく食べましょう。

② 適度な運動やリラックスできる時間を取りましょう。

- 「3つの密」※にならないよう気をつけながら、外で散歩したり、ジョギングしたり、家の中でストレッチやダンスなど体を動かしたりしながら、リラックスできる時間を取りましょう。
- コンピューターゲーム、パソコン、スマホ、動画等は時間を決めて使いましょう。長時間やると依存症になる可能性が高まります。
- ストレス発散の方法が一つだけに偏らないようにし、普段はやらないようことにもチャレンジして、新しい趣味を見つけてみましょう。

※3つの密…(1)換気の悪い密閉空間 (2)多数が集まる密集場所
(3)間近で会話や発声をする密接場面

③ 感染が広がらないようにしましょう。

- 風邪の症状などがあるときは、出かけないで家で過ごしましょう。
- 元気な人も、ウイルスがうつらないよう「3つの密」に気をつけて過ごしましょう。

④ ウイルスに関するテレビやインターネットを見て、気持ちが辛くなるなら、あまり見ないようにしましょう。

- 正しいことを知るの大切なことですが、辛いようなら、見ないようにしましょう。

⑤ 家族や友だちと話す時間をもちましょう。

- 気持ちが辛いときは、一人でいるよりも信頼できる人と話すと楽になることがあります。
- 家族が仕事などのため一人でいることが辛いときは、家族や友達と電話やメール等で楽しく話しましょう。
- 家族といるときは、お話などコミュニケーションをとって過ごしましょう。

⑥ 気持ちが辛くなったら、家族や学校の先生などに相談しましょう。

- 気持ちが辛いときは、次のような症状が出ることもあるかもしれません。でも、今回のような状況では、不思議なことではありません。状況が落ち着けば、おさまることが多いです。
 - ・甘えたくなる
 - ・心配になる
 - ・元気が出ない
 - ・悲しくなる
 - ・イライラする
 - ・怒りっぽくなる
 - ・きょうだいげんかが増える
- 長く続くときや心配なとき、困ったときは家族や学校の先生など、信頼できる大人に相談してみましょう。学校の先生への相談は電話でできます。
- 気持ちがいつもと違うと思ったときは、相談してみましょう。

⑦ いじめは絶対にしないようにしましょう。

- たまたま、新型コロナウイルスに感染した人やその家族あるいは身近な人、感染した人の治療や予防をがんばっている病院や保健所の人やその家族などに、傷つけるようなことを言ったりするのはやめましょう。
 - ・「ウイルスにかかっている」、「ウイルスがうつる」などと言ってからかったり、仲間はずれにしたりする。
- いじめは絶対にあってはならないものです。もし、そのような場面を見かけたら、家族や学校の先生など、信頼できる大人に相談しましょう。

⑧ スマホや SNS に気をつけましょう。

○ SNS 上やチェーンメールでの嘘の情報に気をつけましょう。

- 社会全体が不安になる出来事や大きな災害が起きたあとは、嘘の情報が SNS 上やチェーンメールで広まります。「拡散希望」「転送しないと不幸になる」といった表現のメールは嘘の話を広めるために書かれたものです。
- ウイルス対策について正しい情報は SNS やチェーンメールよりも、公共のホームページなどから得るようにしましょう。

○ 新型コロナウイルス感染症に関する詐欺に気をつけましょう。

- 営業自粛でアルバイトが減っていることにつけこんで、「外出しなくても簡単にお金がもうかる」「〇〇するだけでお金がもらえる」といったコロナを悪用する詐欺も増えています。ネット上だけでなく、知り合いや友達から誘われるケースもあるので、気をつけましょう。